

西建協だより

271号

2017年
2月

西

「社会福祉法人 東京恵明学園」への訪問

前年度に引き続き平成29年2月12日に西多摩建設業協同組合は地域貢献事業として青梅市友田町にある「社会福祉法人・恵明学園」を訪問させていただきました。

恵明学園は児童在住型の養育施設で、昭和21年に東京都世田谷区成城にて発足して昭和45年に現在地へ移転してきた児童養護施設です。

友田町の高台にあり、陽当たりもよく野草なども自生していて今時期になると近隣の人たちと一緒にタラの芽などを収穫したりしているようです。

今回、西建協では『地域の安全・安心を守る建設業』の下、工事や建設機械など身近に感じて将来の担い手になりたいと思って頂けるようイベントを行いました。



小型バックホウ・高所作業車・ハンドガイドローラ・ダンプトラック等を持ち込み、普段と違い間近で動く建設機械に子供たちは興味深く見入り、私たちとは違う目線で機械についての質問などがあつたようです。

この日は、高台ということもあり若干風が少し強く吹いていましたが子供たちは元気で予定の二時間があつという間に過ぎました。

その後、子供たち、児島園長先生、川上統括主任や職員の方々に私たち西多摩建設業協同組合を代表して細沼理事長から贈呈式を行いました。



今回も、組合員及び賛助会員から寄付を受けた700本近いタオルとあめ玉・建設機械のミニカーやおもちゃに子供たちも喜んでいました。



又、展示・実演等を行った建設機械も賛助会員から無償貸与されたものです。

結びに、地域建設業者としてこういった取り組みを通じ、地域社会との交流や理解を得ることで『地域の安全・安心を守る』・将来の担い手の確保などにつながっていくのではないかと思いますので、これからも続けていかなければと思いました。

西建協 広報委員会広報部

建設業年度末労働災害防止強調月間実施

- 本期間：平成29年3月1日～3月31日
- 主催：建設業労働災害防止協会

◎趣旨・目的

年度末は、公共工事等多くの工事が完工時期を迎えて繁忙期となり、また、工事関係者や各職種の出入りも多く、注意力が低下しやすい時期である。当協会は、会員とともにこの時期の建設現場の安全衛生管理を徹底することを目的に、「建設業年度末労働災害防止強調月間」を展開する。経営トップ、建設現場の管理監督者等の関係者は、一層の安全衛生水準の向上を目指し、店社と作業所との緊密な連携のもとに一体となり労働災害防止活動を強化するものとする。

「地域防災における三方よし」への期待
（リエゾン役としての西多摩建設業協同組合）
東日本建設業保証(株)新宿支店長 植草陽一

まもなく平成二十三年三月十一日に発生した東日本大震災から六年が経過しうとしています。

西多摩建設業協同組合ではこれまで岩手、宮城、福島の大震災を視察するとともに、地域の建設業団体と災害時の緊急対応ならびに復興のあり方などについて情報交換をされてきました。

首都圏直下型地震も予想される中、西多摩建設業協同組合ではこれらの活動を踏まえて東京都建設事務所を中心とする行政、西多摩四市三町一村の地域住民と一体となったBCP（事業継続計画）の策定を進められています。

東日本大震災では行政と業界が防災協

定を結んでいたにも拘わらず震災直後は行政から各企業に直接さまざまな対応依頼が殺到、さらに近隣住民からも救助要請が寄せられるなど、情報統制が困難となりました。

西多摩建設業協同組合のBCPでは、これらの知見をもとに情報の共有化・一本化を重視し、通信連絡手段が途絶えた場合でも行政・業界・住民間の情報伝達をスムーズにし、迅速な緊急対応ができるようにリエゾン（連絡要員）対応を強化する「三方よし」の施策を目指されています。

具体的には行政に連絡要員を待機させ

出動要請に備えるとともに西多摩建設業協同組合を災害対策本部として地域で緊急性の高い対応を行政に伝える双方向体制を整えることです。

BCPの第一原則は「自分の命を守る」という行動を着実に実行できるかにあります。最終判断は自分で行わなければなりません。これまでも大丈夫だったから、これからも大丈夫だろうといった「正常化の偏見（オオカミ少年効果）」に陥らないようにする啓蒙活動もリエゾン役として重要な活動になります。

西多摩建設業協同組合には震災後のリエゾン役としての活動に止まらず、発災前の啓蒙活動的リエゾン役として地域を守る中心的存在として活動されることも期待しています。

◇日建学院青梅認定校（西建協）からのご案内◇

受講生募集案内 『合格のための受験対策講座』 〈青梅校 2017 年度開講講座〉

- ◎1級土木施工管理技士学科講座 毎週 火・木
講義日程 3月中旬スタート
- ◎給水装置工事主任技術者 受験対策講座
- ◎2級土木施工管理技士コース 毎週 火・木
基礎講義 6月中旬～7月中旬
本講義 7月中旬～10月中旬
- ◎宅地建物取引主任者本科コース 毎週 水 13時～
基礎講義 3月初旬～4月中旬
本講義 4月下旬～9月下旬
- ◎2級建築施工管理技士コース 毎週 火・木
基礎講義 9月初旬～9月下旬
本講義 9月下旬～11月初旬

西多摩建設業協同組合が「日建学院認定校」として青梅校を開講致します。（8年目）

会員企業の皆様からの受講問合せ（受講申込）等の連絡を

2面につづく

入会のご挨拶

有限会社 幸心興業 取締役 吉成 政治

瑞穂町箱根ヶ崎西松原39-6
電話 042-557-7566
FAX 042-556-3719

この度、西多摩建設業協同組合に加入させて頂きました有限会社幸心興業です。

弊社は平成11年度に個人事業から始め、平成14年5月に法人事業と本格的にこの業界で飯を食う様になりました。

何分私が初代であり、ましてや親兄弟と云った身近な人間にこの業界で飯を食って居る者もおらず只、我武者羅に持ち前の負けん気と責任感だけでこれまで進んで来ました。

ですが一人の力だけでここまで来たとは思いません。社名等は、控えますが五日市や奥多摩、そして業界で唯一の友達や各材料屋さん、ならび従業員達と云った方々の力添えが有り今日までこれたのだと思います。

そして、この力添えを言葉に例えるなら互いを思いやる輪だと思えます。

私は、これらの心の輪を大切にこれから先も頑張っていきますが、西多摩建設業協同組合と云う新たな輪が心の輪となる事に期待感を持ち頑張っていきますので宜しくお願いいたします。

お待ちしております。

*詳細説明は随時致します。

*先ず下記までお問合せ下さい。

連絡先

青梅認定校(西建協) 0428-22-6245 石川
日建立川校 担当: 澤田 080-9349-3870

入会のご挨拶

株式会社 最上建工 代表取締役 大竹 克昌

青梅市新町1丁目24-25
電話 0428-30-0310
FAX 0428-30-0312

この度、西多摩建設業協同組合に新規加入させていただくことになりました株式会社最上建工と申します。

昭和52年山形県最上郡出身の先代により創業され、平成17年本社を瑞穂町より青梅市新町に移し現在に至ります。

創業当初から関電工の協力会社として、地中ケーブルの敷設工事を主体とする地中化工事を専門とし、近年、街の景観や防災に対するニーズが高まる中、無電柱化事業の増加に対応すべく微力ながら事業を展開しております。

今回の入会動機につきましては、大変遅ればせながらこの西多摩地区に建設業者として存続させていただくにあたり、3年前の大雪緊急対応・交通マヒの経験から、地元建設業者としてもっと地域社会へ貢献し、そして古くからの地元建設業者様との連携を深めることによって、より身近に大きくお役に立てるのではないかと確信したからです。

幸いにも当社は、常時緊急時の対応設備をある程度用意しておりますので、今後は組合の一員として微力ながら尽力させていただきます。

皆様方のご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

ホームページ <http://mogami-k.co.jp>

1 月 事 業 報 告

- 13日 西建・森林・西多摩8市町村への年始訪問
- 20日 広報委員会 270号編集発行
- 23日 総務委員会
- 24日 事業委員会
- 25日 理事会
- 25日 新年懇親会 青梅市福祉センター ふよう
- 31日 若手経営者の会 役員会

2 月 事 業 計 画

- 3日 三多摩建設連合会29年新年懇親会 (昭島市内)
- 8日 東京都建設局訓練実施に伴う、『東京湾北部を震源とする大規模地震(マグニチュード7.3、震度6弱以上)が午前7時発生との想定に基づき、(西建職員参集の初動訓練)実施に併せて、道路啓開協定業者全員参加。(西多摩管内全71路線 点検報告訓練実施)
- 9日 事業委員会
- 10日 秋川流域委員会
- 12日 地域貢献事業 (事業委員会)
訪問先 社会福祉法人 東京恵明学園(青梅市友田町)
- 13日 総務委員会
- 14日 広報委員会 271号編集発行
- 15日 理事会

《 青梅商工会議所合同経営講習会開催 》

日時 3月15日(水) 13時30分～

会場 建設会館3階会議室

講習テーマ 労災事故に遭いやすい人、遭いにくい人

講師 村木 宏吉 先生

(元神奈川労働局労働基準部労働衛生課

任労働衛生専門官)

《主な項目》

1. 同じ労働者がまた被災
2. 「今まで事故に遭ったことはない」は、今後もそうか?
3. 気をつける必要がない作業は、安全である
4. 法令を守っているだけでは災害は防げない～法令が最低限ということの意味
5. 誰もが災害に遭わないためには、これからの災害防止活動はどうすべきか
～災害防止活動をどう継続するか～

入会のご挨拶

株式会社 高木造園 代表取締役 高木 久隆

あきる野市小川1-22-4
電話 042-559-3803
FAX 042-559-8110

この度、西多摩建設業協同組合に入会させて頂きました、株式会社 高木造園です。

弊社はあきる野市野辺で造園工事業として昭和59年に創業いたしました。

当初は多摩ニュータウンの開発事業等まだまだ造園工事の発注があり下請け業者として忙しく毎日を過ごしておりました。

その後も公共の公園工事や街路樹植栽工事、また民間の新築物件の作庭等、地元建設・造園会社様の仕事を受注して施工してまいりました。

公園築造工事等は土木的な内容の工種が多くあり弊社も徐々に土木分野の仕事も視野に入れ、平成17年より土木部を設立して一般土木・舗装工事・宅地造成工事等も施工しております。

また、緑のリサイクル事業も本年3月より再稼働致します。様々なニーズに変動する建設現場においてあらゆる角度から取り組み、対応できるように社員一丸となってひとりひとりが責任ある現場施工にあたるよう心掛けております。

今回西多摩建設業協同組合に入会させていただき会員の皆様方には以前よりいろいろな形でたいへんお世話になっておりますなか、温かく迎えていただき感謝しております。

私も生まれ育った地元西多摩の建設業界が、益々発展できますよう、微力ではございますが努力して行く所存でございますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。